

妊娠初期の女性が
風しんにかかると、
生まれてくる赤ちゃんが

「先天性風しん症候群」になる確率
妊娠1ヵ月で
50%以上[※]

この数字は、免疫のない女性が妊娠初期に風しんウイルスに感染した結果、病気を持った赤ちゃんが生まれる確率です。耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気がある、発達がゆっくりしている。これら『先天性風しん症候群』は、妊娠「前」の予防接種で防ぐことができます。未来の赤ちゃんのために、まずは風しんの抗体検査を。

※接種が想定した年齢層別の先天性風しん症候群の発生確率は、妊娠1ヵ月で50%以上、2ヵ月で35%、3ヵ月で18%、4ヵ月で8%程度である。出典元：国立感染症研究所

妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者・ご家族は

風しんの予防接種を ご検討ください。

ポイント 1 近年の風しんは成人に多く見られ、平成25年には20代から40代の年齢層で男性を中心に風しんが流行しました。

ポイント 2 特に昭和54年4月2日～平成2年3月31日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

ポイント 3 風しんの予防接種は、はしか（麻しん）も一緒に予防できる麻しん風しん混合（MR）ワクチンで受けることをお奨めします。

予防接種が必要かどうかは、 抗体価検査でわかります。

鳥取県では、生まれてくる子どもを「先天性風しん症候群」から守るため、

- 風しん抗体価検査の無料実施
- 風しんワクチン接種費用の助成 を行っています。

詳しくは、裏面をご覧ください。→

<平成29年度事業>

風しん抗体価検査の無料実施と 風しんワクチン接種費用の助成をしています！

～ 27年度に県が実施した検査受検者のうち約3割のかたは、風しんへの免疫が不十分です！ ～

生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るために、保健所と受託医療機関で、風しんの抗体価検査(免疫があるかどうかを調べる検査)を無料実施しています。
また、市町村では風しんワクチン接種費用を助成しています。

対象者

<妊娠を希望する女性>

まずは、検査を受けてください。

- 抗体価検査: 無料
- ワクチン接種費用: 助成あり
※検査の結果、免疫が不十分だった場合。

<妊婦の配偶者(内縁を含む)>

ワクチン接種費用が助成されます。
※検査は必須ではありません。

- 抗体価検査: 無料
- ワクチン接種費用: 助成あり

<妊婦または妊娠を希望する女性と同居しているかた>

検査を無料で受けられますが、ワクチン接種費用の助成はありません。

- 抗体価検査: 無料
- ワクチン接種費用: 助成なし



※①～③のいずれかに当てはまるかたは抗体価検査が有料となります。

- ①過去に風しん検査を受けたことがある。
- ②風しんの予防接種歴がある。
- ③風しんの既往歴(検査での確定診断による。)がある。

<いずれにも当てはまらないかた> …無料検査対象者ではありません。

- 抗体価検査: 有料
- ワクチン接種費用: 助成なし

■抗体価検査を受けられる医療機関と検査申込書は、健康政策課ウェブサイトに掲載しています→



【抗体価検査のお申込み先・お問合せ先】

東部福祉保健事務所(鳥取保健所)	☎ 0857-22-5694 / ファクシミリ 0857-22-5669
中部総合事務所福祉保健局(倉吉保健所)	☎ 0858-23-3145 / ファクシミリ 0858-23-4803
西部総合事務所福祉保健局(米子保健所)	☎ 0859-31-9317 / ファクシミリ 0859-34-1392

【ワクチン接種費用助成に関するお問合せ先】

お住まいの市町村役場の予防接種担当課にお問い合わせください。



【その他事業全般に関するお問合せ先】

健康政策課 感染症・新型インフルエンザ対策室 ☎0857-26-7153 / ファクシミリ 0857-26-8143